

会員のみなさま、こんにちは。

そして、スポーツを愛する全てのみなさまはじめまして“SCIX”です。

私たちは、「スポーツを媒体とした新しいコミュニティの創造活動とスポーツを通して身につく重要な『知』の認知・普及活動を中心として、新しい社会の姿を実現していくこと」を目的として、2000年に設立されました。

このたび、私たちの活動内容について、みなさまによりご理解していただけますように、“SCIX Report”という会報を作成いたしました。少しでも多くのみなさまのお手元に届くことを願いながら、活動報告や今後の企画、そして私たちの思いを記していきたいと思います。

***** Sports Community & Intelligence Complex *****

【フットボールコーチングセミナー】

3種クリニック



去る6月27日、神戸ウイングスタジアムにて、“フットボールコーチングセミナー”と題したスポーツイベントを開催しました。内容は、一部と二部に分かれ

ており、一部は、『3種クリニック』。ラグビー、サッカー、アメリカンフットボールという三種類のフットボールそれぞれの分野で活躍する一流の選手・コーチが子供たちの指導にあたりました。

まず、オープニングを飾ったのは、ちびっこチアリーダーたち。音楽が鳴り始めると、フィールドの真ん中に元気よく駆け出し、かわいいダンスを披露してくれました。チアリーダーたちが去ると、次に現れたのは、サッカーやラグビーのユニフォームに身を包んだ子供たち。みんな、スタジアムの蒸し暑さが気にならないのが不思議なほど、興奮しています。それもそのはず、彼らが立っているのは、普段はプロの選手が使用している芝のピッチなのです。おまけに、ラグビーは神戸製鋼スティーラーズの選手、アメリカンフットボールは、関西学院大学ファイターズの選手、サッカーは、ヴィッセル神戸のコーチたちが、本気でコーチングしてくれるのです。コーチたちの話に耳を傾け、

ボールを追いかける子供たちの目は、きらきらと輝いていました。

ラグビーは、ボールを使った2～3人組のパス回しと、ミニゲーム方式との2組に分かれて行われました。まるで大切な宝物を抱えるようにボールを胸に抱き、ゴツイ大人たちの間をすり抜け、それでも捕まりそうになると、友達にその大切な宝物を預けます。30分という短い時間ですが、彼らなりにラグビーのおもしろさを味わったようでした。

アメリカンフットボールでは、エリアを決めてのしっぽ取りゲーム、ボールの持ち方、投げ方など基本を教わっていました。「ハドル！」という号令と共に、「うおー」と大声を出して中央に集まるといふ、アメフト独特の動きのときは、最初、大声を出すことに躊躇していた子供たちも、練習していくうちに興奮してきたのか、頬を上気させながら、大声で叫び、われ先にと駆け出していました。

サッカーでは、A代表でも注目されている『コミュニケーション』を意識して、パスを出すときに相手の名前を呼ぶことを徹底させられていました。小さな声しか出せなかった子供も、「大観衆の声援があったら？」と訊ねられると、何か吹っ切れたようでした。日本代表のピッチに立つ、将来の自分の姿が、一瞬、脳裏をよぎったのかもしれません。

***** Sports Community & Intelligence Complex *****

【フットボールコーチングセミナー】

パネルディスカッション

フットボールコーチングセミナーの第二部は、フィールドから会議室へと場所を移し、トップコーチによるパネルディスカッションを行いました。今度は、子供たちではなく、彼らを指導する大人が対象。みなさん一度は

指導することに戸惑ったことがあるのか、それとも、さらなる高みを目指しておられるのか、メモを取ったりしながら、熱心に耳を傾けておられました。



今回、お話をしてくださったのは、ラグビー元日本代表監督・現神戸製鋼ラグビー部ゼネラルマネージャーの平尾誠二氏、元ヴィッセル神戸ユース監督・現姫路独協大学サッカー部監督の昌子力氏、現関西学院大学アメリカンフットボール部監督の鳥内秀晃氏。いずれも、チームを日本一に導いたことのある名将であることは、みなさまご存知のとおりです。

まず、コーチの方々がおっしゃっていたのは、スポーツを始めるには、できるだけ早い方がいいということです。では、どうやって子供たちにスポーツと親しんでもらえばいいのか。平尾氏は、「まず、楽しんでもらう。楽しければ、自然とうまくなりたいという気持ちが芽生えるものだ」と、おっしゃられていました。それは、第一部のクリニックで実践したとおりといえるでしょう。



しかし、強くなるためには、それだけでは足りません。

***** Sports Community & Intelligence Complex *****

【SCIXラグビークラブ】

SCIXでは、＜SCIXラグビークラブ＞の運営を行っており、下記の目標を掲げています！！

- ① 一般の部 Aリーグ昇格
- ② 高校の部 兵庫県民大会2回戦突破

残念ながら、中学の部は、兵庫県外から通うクラブ員もいるため、兵庫県のスクール大会には出場できません。そのため、協会と協議を行う予定です。

★試合観戦レポート★

9/26 六甲アイランド高校グラウンドにて、SCIXラグビークラブ高校の部の試合が行われました。当日は、9月下旬とは思えない陽気。以下は、その日の試合観戦レポートです。



★★★★ Scix rugby football club ★★★★★

風が吹くと、砂塵が舞った。そのときふと気がついて、つま先で軽く地面を蹴ってみた。しっかりとした感触が返ってくる。土のグラウンド。タックルはおろか、トライを決めて飛び込むことさえ躊躇してしまうのではないかと、まだ遅くなりきれしていない少年達の姿を見ていて不安になった。

ところが、試合開始のホイッスルが鳴ると、彼らは勢いよく駆け出し、相手が迫ってくると、ためらうことなく、跳んだ。前半の30分が終わった時点で、白いユニフォームは泥だらけ。思わず、擦り傷の数を

数えたくなった。それでも、コーチの武藤さん、藪木さんからは、「向こうの勢いに負けるな、びびるな。流れを変えるようなタックルをしろ」という檄が飛んだ。

後半になると、相手チームのユニフォームが変わった。前半と後半で対戦相手が変わる“超”ローカルルール。さすがに、高校の部活動とは一味違う。

それはさておき、炎天下30分を全力で戦っていたSCIXラグビークラブは、多少不利なのではないか。心配をしたのも束の間、コーチの言葉を忠実に守るように、少年達は果敢なタックルに挑み、擦り傷の数を増やした。終わってみれば、前後半合わせて5コのトライ。少年達の顔が、少し誇らしげに見えた。



数えたくなった。それでも、コーチの武藤さん、藪木さんからは、「向こうの勢いに負けるな、びびるな。流れを変えるようなタックルをしろ」という檄が飛んだ。

後半になると、相手チームのユニフォームが変わった。前半と後半で対戦相手が変わる“超”ローカルルール。さすがに、高校の部活動とは一味違う。

それはさておき、炎天下30分を全力で戦っていたSCIXラグビークラブは、多少不利なのではないか。心配をしたのも束の間、コーチの言葉を忠実に守るように、少年達は果敢なタックルに挑み、擦り傷の数を増やした。終わってみれば、前後半合わせて5コのトライ。少年達の顔が、少し誇らしげに見えた。

数えたくなった。それでも、コーチの武藤さん、藪木さんからは、「向こうの勢いに負けるな、びびるな。流れを変えるようなタックルをしろ」という檄が飛んだ。

後半になると、相手チームのユニフォームが変わった。前半と後半で対戦相手が変わる“超”ローカルルール。さすがに、高校の部活動とは一味違う。

それはさておき、炎天下30分を全力で戦っていたSCIXラグビークラブは、多少不利なのではないか。心配をしたのも束の間、コーチの言葉を忠実に守るように、少年達は果敢なタックルに挑み、擦り傷の数を増やした。終わってみれば、前後半合わせて5コのトライ。少年達の顔が、少し誇らしげに見えた。





夜週 1, 2 回の練習日に全員が揃うのは、なかなか難しいのが現実。キャプテンの辻本君、黒岩君たちも、

クラブのメンバーのほとんどは、普段は学校でラグビー以外の部活動を行っているそうです。県外から参加している子もいて、平日の

それを残念に思っている様です。でも、彼らは、高い指導を受けられていると自負していました。

SCIXコーチ陣は、「子供たちに考え、理解させること」を一番大切にしたいと考えておられるそうです。その練習が本当に必要なのかどうか、何のためにやっているのか。

合同練習のある日以外に、彼らが自主練に取り組むか、どうか。強制することはできませんが、「やっぱり、勝たないとおもしろくないから」

と笑う黒岩君は、ちゃんとコーチ陣の意図を汲み取っているように見えました。

***** Sports Community & Intelligence Complex *****



第2回SCIXスポーツ・インテリジェンス講座 ～『コーチング』を考える～

「個を育て、集団・組織を動かすコーチングとは？」をテーマに、以下のような方々を講師にお招きし、計6回の講座を開催いたします。



第1回：10月16日
「コーチング」で何が変わるか？
講師：SCIX平尾誠二理事長



第2回：11月20日
「気づき」を与えて人を動かす
講師：伏見工高ラグビー部総監督 山口良治氏



第3回：12月18日
「ゴールデンエイジ」をどう育てるか？
講師：元日産FCコーチングスタッフ・作家 永井洋一氏



第4回：1月15日
「やる気を引き出す」コーチング
講師：野球評論家 山田久志氏



第5回：2月19日
「ビジネスに生かす」コーチング
講師：前ラグビー日本代表強化委員長・日本協会理事 宿沢広朗氏



第6回：3月19日
スポーツを「文化」に高めるために、どんな「指導者・コーチング」が必要か？
講師：スポーツライター 玉木正之氏
ゲスト：平尾誠二理事長

◆会場 毎日新聞 大阪本社 5F 501研修室
※第1回のみ、電通 関西支社

◆募集人員 80名

◆受講料 1講座 5,250円（税抜き 5,000円）
全6回受講 28,350円（税抜き 27,000円） ※10%割引

◆受付 URL: <http://www.scix.org/>
TEL: 03-3769-0291 平日 10:00～18:00 (株)T4C

【入会案内】

(会員・会費について)

会員種別		入会金	年会費
正会員	個人会員	—	5,000 円
	団体会員	1 口 100,000 円 (何口でも可)	100,000 円
サポーター	個人会員	—	—
	団体会員	1 口 50,000 円 (何口でも可)	50,000 円
WEB クラブメンバー	個人会員	—	—

(お問い合わせ)

SCIX事務局 〒651-8585
 神戸市中央区脇浜町2-10-26
 t e l : 078 (261) 4046
 e-mail : office@scix.org

SCIX は、みなさまのボランティアな支援によって支えられています。

【発行人】SCIX事務局 五十嵐慎哉

【編集】小林尚美

【発行元】SCIX事務局

〒651-8585

神戸市中央区脇浜町2-10-26

t e l : 078 (261) 4046

e-mail : office@scix.org